



神戸大学

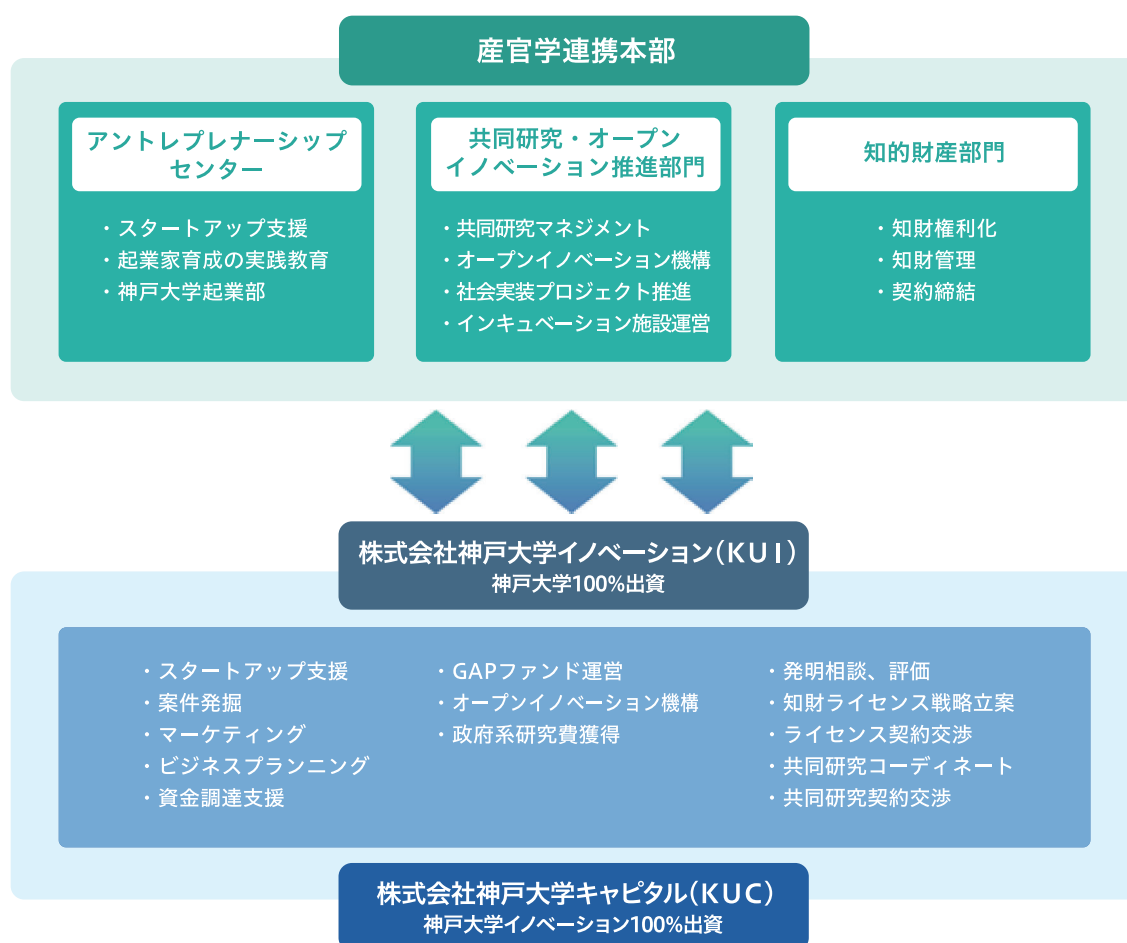
神戸大学 産官学連携本部 のご紹介

Kobe University Enterprise Partnerships Division

産官学連携本部について

「産官学連携本部」は、産業界のニーズに対して、最適な研究シーズを提案する「共同研究の創生」、複数の企業や研究者がチームでイノベーション創出に取り組む「オープンイノベーションの推進」、研究者の発明を知的財産として権利化し、企業に利用いただく「知的財産の管理活用」、さらには「アントレプレナーシップセンター」において、起業家精神の醸成やベンチャー企業により社会での活用を図る「スタートアップの育成」とスタートアップを担う人材を経営学などのプロフェッショナル講師陣が育成する「アントレプレナーシップ教育」を通じて産業界・自治体・全学研究者とともに異分野共創によるイノベーションを生み出す窓口としての機能を果たして参ります。

■ 産官学連携本部の組織体制



KUI
神戸大学イノベーション

(株)神戸大学イノベーション

神戸大学では産官学連携機能をより機動的、効率的に推進するために、文部科学省・経済産業省から承認TLO(技術移転機関)の認証を受けた外部法人である(株)神戸大学イノベーション(KUI)を設立しています。KUIは神戸大学産官学連携本部と連携して、産学連携の積極的な展開を行っています。

産官学連携の推進

企業と大学の連携には個別相談から組織的連携まで多様な形態を用意しています。産官学連携本部とKUIでは、企業や研究者のニーズを調査し、パートナーのマッチングを行うことで産学連携を推進しています。

▶ 学術相談・学術指導、シーズ集

研究者が企業の技術的な課題の相談に応じます。シーズ集で研究者を検索できるほか、ホームページから問合せができます。数日～数か月程度の相談指導を行い、テーマを特定して共同研究へ発展します。

▶ 共同研究

テーマを設定して年単位での研究を行います。研究者のマッチング、スケジュールや研究費の相談にKUIが対応します。

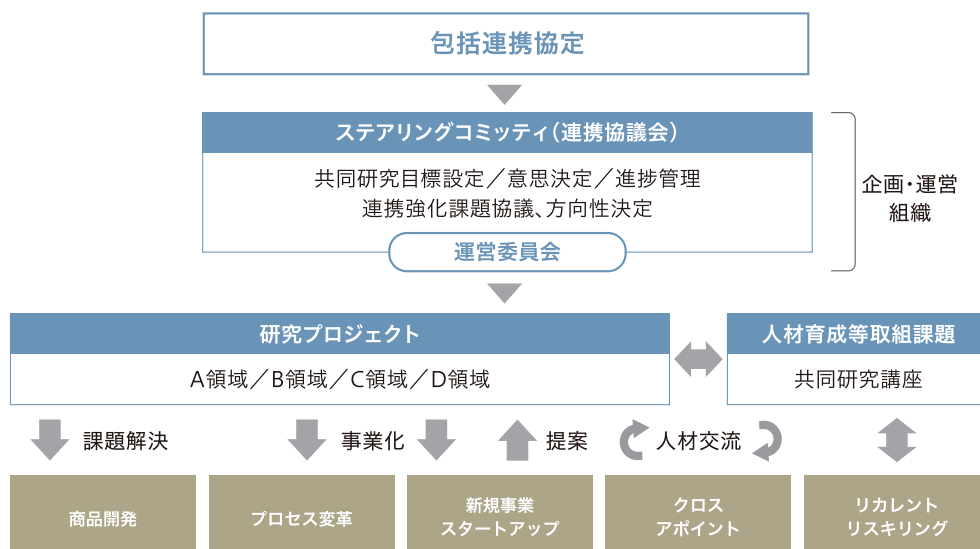
▶ 共同研究講座

大学に組織を設置し、学生も交えて大規模に共同研究を行う形態です。企業の研究者を大学に招くなど人材交流も行われます。

▶ 包括連携

企業と大学が連携協定を結び、様々な分野で共同研究や人材交流を行います。両方でテーマ探索や進捗確認を行い、相乗的な研究の展開が期待できるとともに、リスクリングなど多様な活動を展開し、企業と大学が持つ資源を最大限に活用して、双方の発展を目指します。

■ 包括提携協定のイメージ



発明と知的財産

大学の研究成果を社会へ還元するためには、企業にビジネスとして活用いただくことが有効です。そのために、研究者の職務発明は大学が譲り受けて、特許権などの知的財産として権利化します。これを、共同研究のパートナー企業やベンチャー企業へライセンスし、活用いただいています。企業からいただくライセンス対価は、発明者への還元と、研究基盤の強化に充当しています。以上の発明創造、特許出願、産業利用、利益還元の一連の流れを知的創造サイクルと呼びます。産官学連携本部は、KUIと共同で発明相談から評価、特許出願、ライセンスまで一貫して大学の知財を管理しています。

企業の方へ

大学のシーズ集を公表していますのでご利用ください

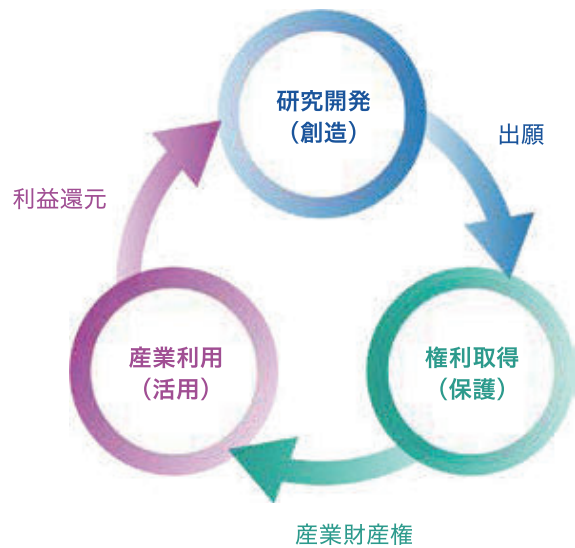
研究シーズサイト



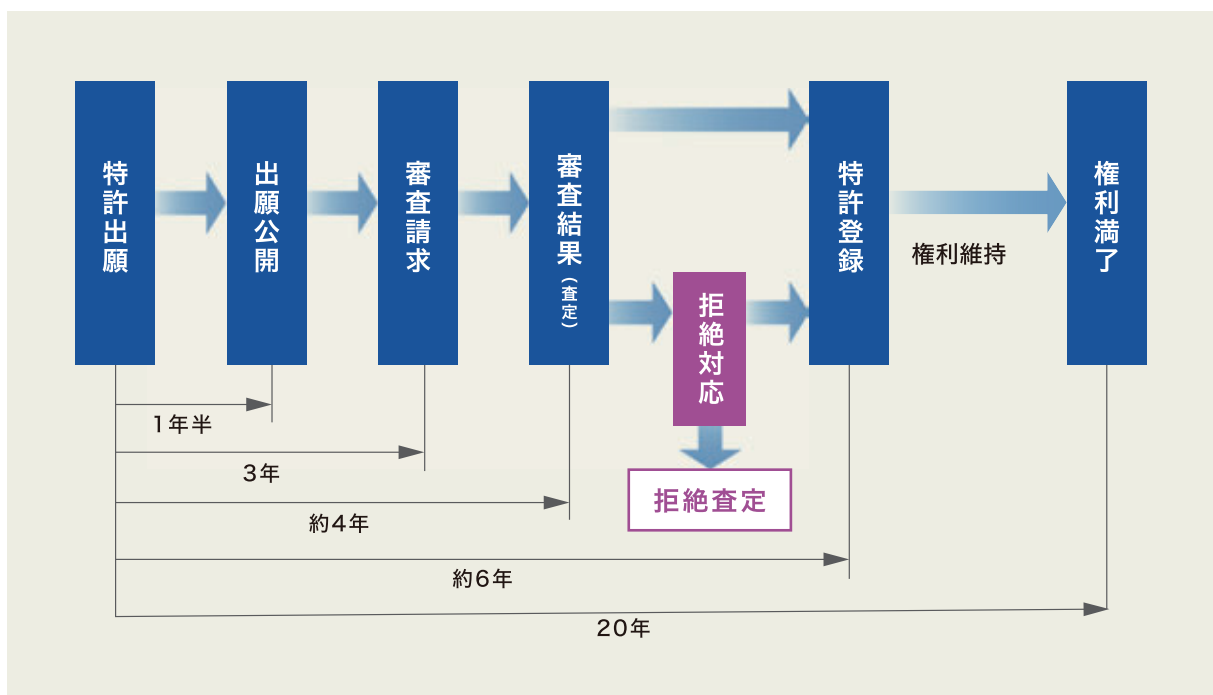
学内の方へ

発明相談を随時受け付けていますので、論文発表の前にご相談ください

知的創造サイクル



特許出願フロー



研究シーズの育成

研究者の発明やアイデアを企業で事業化するプロセスを「シーズ(種)のインキュベーション(成長促進)」と呼んでいます。シーズ段階では社会で利用できるか判断が難しい場合に「PoC(Proof of Concept)」や「実証研究」と呼ばれる有用性の検証が必要です。

本学は科学技術振興機構(JST)の大学発新産業創出プログラム(START)大学推進型に採択されています。その事業費に独自財源を組み合わせ、産官学連携本部では学内で公募した研究テーマを評価して、有望なシーズに実証研究費を配分する「GAPファンド」を展開しています。実証研究にはKUIのアソシエイトが伴走して実証を重ね、事業化が見えてきたら、市場調査やマーケティングに基づくビジネスモデルを作成することでベンチャー企業(スタートアップ企業とも呼びます)の立ち上げをサポートします。

ベンチャー企業としての船出はインキュベーションの最終段階で、大きな事業資金が必要です。ここでは、KUI社の子会社(本学の孫会社)である「神戸大学キャピタル(KUC)」が登場します。KUCはベンチャーキャピタル(投資家)や金融機関からの投資を集めて、「神戸大学ファンド」を設立して、有望なベンチャー企業へ投資することで、企業基盤を育成します。さらに、民間のファンドなどから出資を集め大きな成長を目指します。ベンチャー、スタートアップによるイノベーション(技術革新)は、我が国の成長戦略に位置付けられており、大学の研究を社会に活用する有効な手段とされています。

■ インキュベーションフロー



大学発新産業創出プログラム

START

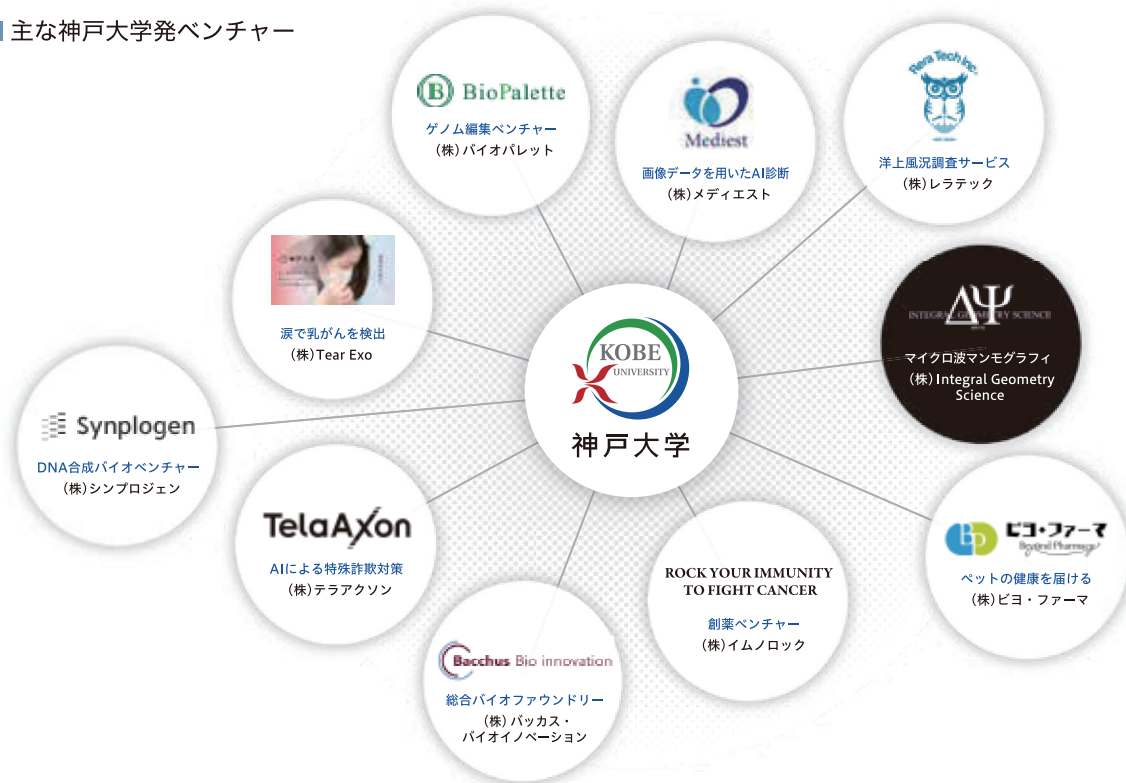
科学技術振興機構(JST)の大学発新産業創出プログラム(START)大学推進型では、本学と大阪工業大学が共同で、所属する研究者・アントレプレナーの技術シーズを発掘し、起業活動支援を行い、技術シーズやビジネスモデルのブラッシュアップを行い、ベンチャーキャピタル(VC)から投資を受けられるベンチャーへ橋渡しすることを目的としています。本学は2020年度に採択され、独自財源も組み合わせることでこれまでに55件の技術シーズを支援してきました。毎年度末には、採択した技術シーズを外部に向けて発表する Demo Day を開催しています。

大学発ベンチャー

神戸大学から多くのベンチャー企業が生まれています。特に、本学の強みであるバイオものづくりや医工連携などの各分野で、革新的な技術や知財に基づくベンチャー企業が生まれています。産官学連携本部では「神戸大学発ベンチャー」の認定制度を運用しており、認定企業のPRや知財ライセンスの優遇などの支援を行っています。

また、内閣府の拠点都市に選定された「大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム」などに参画して自治体や関連団体と連携することで、ひょうご神戸、関西地域でのベンチャー・スタートアップ創出による地域活性化に貢献しています。

■ 主な神戸大学発ベンチャー



■ 京阪神スタートアップ アカデミア・コアリション(KSAC)



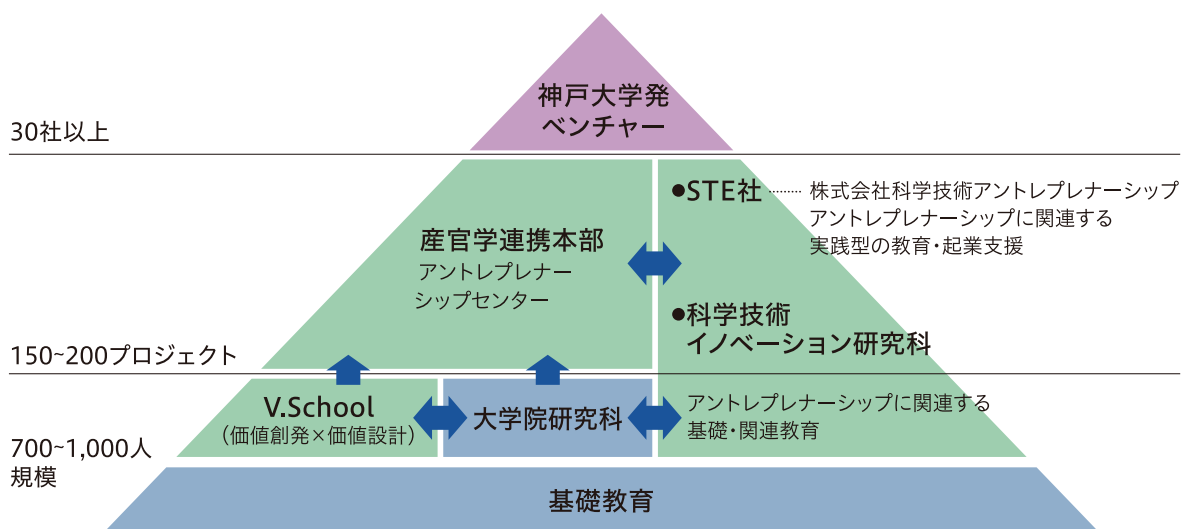


神戸大学 アントレプレナーシップセンター

アントレプレナーシップセンターは、神戸大学の全学の学生・社会人を対象に、(1)教育(2)実践(3)起業支援を3つの柱とした運営を行います。国際的に卓越したアントレプレナーシップ教育と実践プログラムを提供することにより、自ら課題を設定し、創造的に解決できる能力を身につけたアントレプレナーの輩出を目的としています。そして、京阪神地域におけるスタートアップ・エコシステムの中核的拠点として、神戸大学発や地域発のスタートアップの創出・育成を担います。

また、学生を対象とした「神戸大学起業部」を設立し、チームを組んで作成したビジネスプランをメンターがサポート・指導して、将来の起業家育成に取り組んでいます。

■ イノベーション創出に向けたアントレプレナーシップ教育



■ 神戸大学起業部





神戸市バス 36 系統

六甲台
第2キャンパス

● 神大文理農学部前

阪急 六甲

JR 六甲道

阪神 御影

神戸大学 産官学連携本部

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1
<http://www.innov.kobe-u.ac.jp/>

詳しくはHPを
ご覧ください

神戸大学 産官学連携本部 検索

